

WEEKLY SIGNAL

2020年10月2日(金) 1544号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

		10/5(月)	10/6(火)	10/7(水)	10/8(木)	10/9(金)
無担保O/N				△ 0.087% ~ 0.001%		
銀行券		+ 900	+ 1,000	ト ン	ト ン	△ 1,000
財政他		△ 28,500	+ 1,000	△ 9,000	△ 1,000	△ 25,000
資金需給		△ 27,600	+ 2,000	△ 9,000	△ 1,000	△ 26,000
主要因	国庫短期証券発行・償還(3M)			国債発行(30年)		国債発行(5年)
オペ期日	共通担保 CP買入	△ 3,800 △ 400				米ドルオペ用担保供給 + 2,200
オペスタート	国債買入 共通担保	+ 5,800 + 2,300				
(日本)				景気先行CI指数(8月) 景気一致指数(8月)	日銀支店長会議 地域経済報告(10月) 国際収支(8月)	
(海外)	米ISM非製造業景況指数(9月) ユーロ圏総合・サービス業PMI(9月) ユーロ圏小売売上高(8月)	米貿易収支(8月) 米パウエルFRB議長講演		米FOMC議事要旨 ユーロ圏ラガルドECB総裁講演	米新規失業保険申請件数 (3日終了数)	米卸売在庫(8月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.010 ~ 0.020
SPOT 2M	△0.010 ~ 0.040
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.130

＜インターバンク＞

日銀当座預金残高は、週初487兆1,800億円から始まった。その後は国債発行や税揚げなどの財政等要因から同残高は減少し、478兆1,500億円で越えた。無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.032%から始まったものの、30日は半期末のため調達を控える先が多く、△0.061%に急低下した。10月に入ると期末要因が剥落したことから地銀・証券等のビッドが戻ったことで、堅調な地合になり、週末3日積みとなる2日には△0.022%となった。ターム物は10月スタートのショートタームを中心に△0.03%~△0.015%の出合が散見された。日銀が1日に発表した9月の全国企業短期観測調査(短観)において、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)は△27ポイントとなり、前回の調査から7ポイント回復した。来週の主な予定は、国内では日銀支店長会議・地域経済報告の公表(8日)などがあり、海外ではFOMC議事要旨(7日)、ECB議事要旨(8日)の公表などがある。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.030 ~ 0.000
TDB 3M	△0.185 ~ △0.135
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

＜CP＞

今週の入札発行総額は約 1兆2,800億円で、週間償還額(約2兆7,000億円)を下回った。期明けの発行再開となり、連日商社や石油業態等で大型の発行案件があったものの、発行市場は、週を通じて案件少なめで落ち着いた市場であった。先週末の市場残高は25兆3,081億円であったが、10月1日時点では23兆1,727億円と、減少した。来週の週間償還額は、約4,500億円となっている。CP市場残高が減少傾向にあるなか、発行市場は償還に対しどの程度ロールされるかが注目される。投資家の運用ニーズは強く、発行レートは引き続きマイナスから0%近辺の出合いを予想するが、発行量の少ない銘柄ではやや強いマイナスレートでの発行が見込まれる。

＜TDB＞

2日の3M941回債(1/12償還)の入札は、最高落札利回り△0.1418%(前回債△0.1659%)、平均落札利回り△0.1525%(同△0.1860%)となり、入札後△0.148%~△0.145%の出合が見られた。そのほかセカンダリーでは概ね3M物が△0.185%~△0.175%のレンジ、6M物が△0.158%~△0.150%のレンジ、1Y物が△0.164%近傍で取引された。

＜レポ＞

足許GC取引は週初△0.10%近辺の出合いからスタート。末初物となる30日受渡しでは△0.15%~△0.10%で取引された。1日受渡し以降はレートは上昇し、短国3Mの発行日となる5日受渡しでは、△0.07%近辺の出合いが見られた。SC取引は2年408~416回債、5年137~144回債、10年340~359回債、20年166~173回債、30年59~67回債、40年10~13回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。